



「東京六戸会」たより

総会・懇親会

132

東京六戸会の平成27年度総会・懇親会が、4月5日(日)東天紅上野本店に於いて開催されました。当日は39名の方がご出席され、杉山会長の挨拶の後平成26年度の活動報告、会計報告、27年度の活動計画、予算案、役員改選案が審議され、原案通り承認されました。

引き続き懇親会に移り、内藤洋子さん(今回で理事を退任)の音頭で乾杯した後、吉田豊六戸町長からご挨拶がありました。六戸町の人口は1.5%ぐらい増えており、あと2～3年この傾向が続くと予想されること、金矢工業団地の大型材木加工工場がいよいよ4月から操業に入り、雇用も期待されることなどをお話されました。

今回六戸町役場から吉田町長の他に川村雄宇主査と久田浩貴主査がご出席され、自己紹介されました。川村さんは4月から東京にある自治体国際化協会へ派遣され、来年4月にはオーストラリアのシドニー事務所へ派遣される予定であること、久田さんは総務課で広報を担当し、東京六戸会は今年もまたお世話になることになりました。

会場では大相撲春場所千秋楽の結びの一番、白鵬対日馬富士戦の録画DVDがスクリーンに映し出され、この大一番を六戸中の校章の

入った装束で裁いた、第37代立行司木村庄之助(畠山三郎さん)の雄姿に出席者から拍手が湧き起りました。続いて畠山三郎さんの挨拶があり、好きな相撲界に入り交通事故や病気などいろいろありましたが、約50年の行司人生に悔いなし、とお話しされました。

ここで六戸町のイメージキャラクター、メイプル君が登場し愛嬌を振りまきながら、出席者と一緒にかメラに収まっていました。

和気あいあいの懇親会も残り時間が少なくなり、恒例になっている“ふるさと”を吉田竹雄さんの先導で合唱し、最後に記念写真を撮り第17回総会・懇親会は終了となりました。

帰りに六戸町からの大玉日本一のニンニク(1個)と、東京六戸会からお団子(2個)をお土産として出席者にお渡ししました。(七百中 33年卒 高坂忠)

